

コラボ産学官埼玉支部だより

Vol. 8

発行 コラボ産学官 埼玉支部

事務局長 井草 宣義

平成20年1月10日

『産学交流セミナーin 埼玉大学工学部』を実施いたしました！

去る11月2日、埼玉大学工学部ならびに地域共同研究センターの全面支援をいただき『産学交流セミナーin 埼玉大学工学部』を開催しました。

当日は同大学の「第58回むつめ祭」開催初日と重なり、キャンパスには学生たちが運営する露店が所狭しと立ち並び、大変な賑わいを呈していました。そんな中、キャンパス中央に立地する総合研究棟階段教室には、およそ90名の方々にお集まりいただきました。



【ご挨拶される川橋工学部長↓】



続いて、池野準教授からは「埼玉オプトプロジェクト」

川橋工学部長のご挨拶でセミナーの部がスタートしました。

地域共同研究センター長の高田教授からは、埼玉大学の産学連携活動に関するお話がありました。

のご紹介、田坂参事役からは「埼玉大学の就職状況」についてのご説明があり、およそ1時間のセミナーは終了しました。

その後の研究室見学の部では、参加者は7グループに分かれ、同大学の学生を案内役に、工学部7学科の研究室を見学させていただきました。



移動も含め見学は2時間にわたり、当初予定されていた休憩時間も取れずかなりハードスケジュールでしたが、提出されたアンケートでは、大半の方々より「参考になった」との回答をいただきました。

懇親会では15名もの先生方の参加に加え、中山副学長も駆けつけてくださいました。先生方からは自己紹介とコメントがあり、産学連携に対し非常に真摯で前向きであることが良く判りました。

今回は、地元さいたま市内の企業主体にご参加いただきましたが、これを機に埼玉大学との産学連携が活発になるよう、当支部も頑張る決意を新たにいたしました。

支部活動報告

1. 会員増加状況 (19年12月末現在)

	先数	構成比(%)
製造業 . . .	384	69.9
卸・小売業 . . .	44	8.0
建設業 . . .	46	8.4
その他 . . .	75	13.7
合計 . . .	549	100.0

4月～12月の9ヶ月で194社増加しました。

2. 活動状況

- ①平成19年5月17日(木)
 - 「産学交流セミナーinものづくり大学」を開催し、約70名が参加しました。
- ②平成19年5月24日(水)
 - 上尾地区で「技術課題相談会」を開催し、7社の相談を受け付けました。
- ③平成19年6月4日(月)
 - 浦和パインズホテルで「コラボ産学官埼玉支部第1回通常総会」を開催し、大勢の会員の皆様にご出席いただきました。
- ④平成19年6月29日(金)
 - 群馬大学にご協力いただき、新都心ビジネス交流プラザで「第1回中国ビジネスセミナー」を開催し、約100名が参加しました。
- ⑤平成19年7月23日(月)
 - 川越地区で「技術課題相談会」を開催し、8社の相談を受け付けました。
- ⑥平成19年7月26日(木)
 - 「産学交流セミナーin埼玉工業大学」を開催し、約70名が参加しました。
- ⑦平成19年10月17日(水)
 - 熊谷地区で「技術課題相談会」を開催し、5社の相談を受け付けました。
- ⑧平成19年11月2日(金)
 - 「産学交流セミナーin埼玉大学工学部」を開催し、約90名が参加しました。

⑨平成19年11月27日(火)

- 草加アコスホールで「第2回中国ビジネスセミナー」開催し、約100名が参加しました。

⑩平成19年12月13日(木)

- 春日部地区で「技術課題相談会」を開催し9社が相談に来ました。

3. 活動結果

会員企業の相談案件の中から次のような成功事例が生まれました。

① S社

自社開発製品の試用試験について埼玉県農林総合研究センターと委託契約を締結しました。

② F社

生体認証システム製造についてN大学と共同研究継続している他、新たにK大学とも共同研究契約を締結しました。

③ J社

自動機械(ロボット)製作についてM大学と奨学寄附金研究が継続中です。

④ G社

精密機械製造についてM大学と奨学寄附金研究が継続中です。

産学官イベント情報

県内最大の販路・取引先拡大を目的とする展示商談会『彩の国ビジネスアリーナ 2008』が下記の通り開催されます。

県内を中心に、337の企業・団体が出展する他、併行して各種講演会等も開催されます。当支部も出展しておりますので是非お出かけください。

■ 開催日時：平成20年2月14/15日(木/金)

14日は10時～18時、15日は10時～17:00

■ 開催場所：さいたまスーパーアリーナ

JRさいたま新都心駅下車 徒歩3分

■ 入場費用：無料

詳細につきましては当支部ホームページにてご案内いたします。

「中国ビジネスセミナー」を共催しました

去る11月27日(火)、草加アコスホールで「中国ビジネスセミナー」(主催：埼玉縣信用金庫)が開催され、当支部は共催いたしました。

月末にもかかわらず52社63名のお客様をはじめ、埼玉縣信用金庫の職員も含め聴講者は総勢100名にのぼりました。



【冒頭挨拶する埼玉縣信用金庫理事法人事業部長・神田茂氏】

講師は信金中央金庫／総合研究所・アジア業務室長・篠崎幸弘氏(下記写真)、演題は『転換期を迎えた外資優遇政策と中小企業の対応』でした。



篠崎先生からは「外資企業に対する中国の優遇政策は来年より大幅に削減されるとともに、労働契約法の制定

は外資企業経営者に大きな負担をかけることになる。今後中国進出を検討する場合には、まず自社の体力(人材・資本力・国際経験)を正確に把握すること、入手している情報の信憑性をチェックすること、中国国内での人脈をつくること等が必要となる。その上で良き相談者(作戦参謀)を持つことが成功の近道である」とのお話がありました。



【講師のお話真剣に耳を傾ける皆さん】



【講師に質問する参加者】

セミナー終了後のアンケートでは、回答者の9割の方々より参考になったとの回答を頂きました。また、中国以外に関心のある国としては、ベトナム・インドが挙げられました。

埼玉縣信用金庫では、今回のアンケート結果を踏まえ次回セミナー内容を検討するとのことでした。

会員さん、いらっしゃい!

会員ナンバー：353

会社名：株式会社デジタルベリー

代表者：赤羽根 康男

所在地：さいたま市浦和区高砂 2-13-19K2 ビル 6F

TEL：048-814-1232 FAX：048-831-6464

URL：<http://d-berry.jp>

<http://digital-catalog.jp>

E-mail：akabane@d-berry.jp

業務内容：デジタルカタログ・デジタルチラシ制作
ホームページの制作、コンサルティング



《赤羽根社長》

クロスメディアエキスパート資格者
埼玉県いちおし『起』業プラン大賞特別賞

弊社は設立3年、従業員数5名のベンチャー企業です。

ホームページ上にカタログの「ページをめくる」イメージを表現するコンテンツ「デジタルカタログ作成サービス」と、高機能ホームページを20万円～で作成する「ホームページ作成サービス」の2つのサービスを主に展開しております。

ちょっとPR...



デジタルカタログ



ホームページ作成

『デジタルカタログ』は、サービス開始後約3年間で、導入社数150社を突破しました。パナソニック様、九州電力様、ミニストップ様等の大手企業様の他、県内でも大学様の「デジタル大学案内」、メーカー様の「デジタル商品カタログ」など、様々なお客様にご利用頂いております。カタログ（商品案内・会社案内等）をお持ちのお客様は、弊社にお送り頂ければそのままのイメージでホームページに載せる事ができ、様々なお客様にご覧頂くことができます（8ページのカタログの場合、約30,000円でデジタルカタログ化が可能です。）

『ホームページ作成サービス』は主に埼玉県内のお客様にご利用頂いております。ホームページはお客様を獲得するための一番の営業ツールであり、弊社のお客様150社もほとんどがホームページをご覧頂いたのをきっかけにご発注頂きました。

ホームページは作って終わりではなく、いかに目的のお客様に自社ページに来てもらえるかを考え、日々進化させていく事が重要です。

弊社は浦和駅3分の場所にあり、事務所には大型テレビをご用意し、様々な事例をご紹介します。WEBに関してお困りの際は是非ご来社下さい。

会員さん、いらっしゃい!

会員ナンバー：36

会社名：電元オートメーション株式会社

代表者：滝田 芳人

所在地：行田市富士見町 1-14

TEL：048-556-5281 FAX：048-555-1986

URL：<http://www.dengen-auto.co.jp/>

業務内容：パチンコパーラー向け空気清浄機、医療
機関向け除菌脱臭機、全自動麻雀卓及び新開包
装機等メカトロ機器の開発・製造販売

ISO9001・2000 認証取得済



《滝田芳人社長》

ちょっとPR...



リフレッシュ Ag
業務用除菌脱臭機



KS270
パーラー向け除菌脱臭機



配パイまで行う究極の全自
動麻雀機 昇龍 II

昭和 32 年、東京の中野で産声を上げました。創立以来 50 年を迎えた比較的歴史の長い企業です。富士ゼロックス向け高圧電源を生産するために、昭和 40 年行田工場を建設したのが行田での始まりです。

50 年の間、景気の良い時ばかりではありません。不景気の嵐の中で当社も辛い苦しい時期を経験し、それが再スタートのバネとなり、当社の経営理念を「であい・感謝・感動」と決めました。もちろん従前より先輩たちから受け継いだ経営理念はありましたが、約半年間みんなで毎週話し合いをし、新たに決めた私たちの魂の言葉です。その理念の下再出発したことで、今の我が社があると確信しております。お得意様、金融機関の方々、そして共に頑張ってきた仲間たちに感謝の念を禁じ得ません。

少し大袈裟かも知れませんが「快適時間創造企業」を合言葉に、すべての人に快適な時間と快適な空間（エリア）を提供できるよう努力を重ねてまいります。

パーラー向け除菌脱臭機は、タバコを吸わない方にも快適にパチンコを楽しんでいただく環境空間を提供し、北海道から九州にいたる全国各地のパーラーに納品させていただいております。また、究極の「配牌完了型全自動麻雀機」を他社に先駆け開発したことで、当社製品を取り扱う販売会社も 3 倍近くに増えました。

新製品開発に向けて産学連携も積極的に進めており、このたび慶応大学との共同開発による新たな除菌・脱臭装置の開発に成功しました（去る 11/22 の日刊工業新聞に記事掲載）。来春以降には販売を開始し、年間 5,000 台の販売目標を早期にクリアしたいと思っております。

産学官連携キーワードVol.7

ライセンス(実施権)・・・特許権のある発明を実施する権利、実施権のこと。「ライセンス」(実施権)には、その権利を供与(ライセンス)された者だけが独占的に実施できる専用実施権と、独占的ではないが複数人が権利を実施できる通常実施権の2種類がある。また、専用実施権は、特許権者であっても実施することはできない。「ライセンス」の形をとって大学の研究成果(発明)を移転するのがTLO(技術移転機関)である。

ライセンス(実施許諾)・・・特許権者が特許発明を実施する権利を第三者へ供与することにより、その対価を得る行為のこと。特許権者は、第三者に対してそのライセンス(実施権)を許諾することにより、ライセンス料(ロイヤルティ)を得ることができ、実施権者はライセンスにより、特許侵害による損害賠償請求の心配することなく発明を製品化できる。「ライセンス」は実施権の供与であり、特許権の移転とはならない。

TLO【Technology Licensing Organization】・・・技術移転機関の略称で、大学の技術、アイデア、発明を評価・特許化し、適切な企業へ積極的にマーケティングを行い、技術移転に結びつける役目を果たす。大学から民間企業への技術移転は産業界の活性化を促進し、その収益の一部は大学や研究者へ還元され、さらなる学術・研究の発展を促す。従来、大学の研究成果を民間企業が発掘し、事業化を図ることは困難だったため、民間企業「産」と大学「学」の橋渡しを担う「TLO」の存在は重要である。このことから日本では、1998年8月、大学に「TLO」を支援するための「大学等技術移転促進法(TLO法)」が制定された。

—JIPMソリューション発行図書:スタート!「産学連携」より

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりありがとうございました。本年も宜しく願い申し上げます。

さて、支部設立後2年目となった今年度は、「年間活動計画」に基づき着実に事業を推し進めることができ、これも偏に関係各位のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。おかげさまで、徐々に成功事例も増えつつあります。

また、昨年度の成功事例(C社とT大学の共同研究)のC社は、「大規模地震の液状化現象でも浮上らないマンホール」をいよいよ市場に投入し、売上・利益の計上が大いに期待されております。

さらに、埼玉県が主催する「埼玉県いちおし『起』業プラン大賞」、「彩の国産業技術大賞」、「洪沢栄一ベンチャードリーム賞」等に会員企業が積極的に応募するなど、活発な活動も見られ頼もしく感じる次第です。

末筆になりましたが、支部会員企業の益々のご発展と、「産学官連携」に携わる関係各位のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げます。

コラボ産学官事務局長 井草 記

コラボ産学官埼玉支部

360-8611 埼玉県熊谷市久下4丁目141番地 (埼玉縣信用金庫法人事業部内)

TEL: 048-526-6887 FAX: 048-599-1044

E-mail: info@collabosgk-saitama.com

URL: <http://www.collabosgk-saitama.com/>